

令和5年度第1回行政改革推進委員会 会議録

1. 開催日時 2023.10.26(木) 18:30-20:00
2. 開催場所 庄内町役場 会議室4
3. 出席委員 小野英一、土田徹、長南美香、伊計麻衣子
4. 事務局 企画情報課 課長、企画調整係長、企画調整係

(18:30)

1.開 会 企画情報課長

2.委員自己紹介

3.委員長、副委員長選出

委員長 小野英一氏 、 副委員長 原田周子氏

4.委員長あいさつ

委員会によっては、大勢で行う委員会もありますが、この委員会をご覧のとおり少人数の委員会になりますので、それぞれのお立場からのお考えで、忌憚のないご意見をいただければと思います。

5 協議

- (1) 第3次庄内町行財政改革推進計画について
行政評価に関する調査研究（報告）について
令和5年度行政改革取組報告について

事務局説明

【委員】 去年の話から、今年度各課で取り組んでいただいて、成果がでている。この調子で進んでいただければと思う。

【委員】 去年は、何をやるかよくわからず参加していたのが現状。計画があって、委員会をもってその結果の報告を受けて、よりよくする役割なのだとということが分かった。資料の方が直前すぎて、読む時間がなかった。それぞれが役割をもって参加しているので、職業柄、数字的なものを意識しなければならないと思っている。数値化して、見える化をするという部分での意識を持っていただきたい。町民が同じ目線で評価しているのか、どのように検証しているかわからない。

今日は新庄に行ってきたが、新庄東高校の校長は、交流を大切にしている。庄内総合高校、

若い人の目線、考え方が大切。若い人を積極的に参加させて、行政の評価も高くなるのでは。祭りにしても、町で音頭を取ったものと高校生が求められるものが違っている。行政職員は遅れていると痛感しているのでは。高校生を積極的に参加させて、地元への帰属意識、地元を何とかしたいという意識が高くなるのではないか。

【委員長】 AI-OCR、RPA による業務改善によって、人間にしかできない業務に職員が当たるといことで、R7 目標値は 20。R2 は 0、R4 は 7 と少しずつ目標に向けて着実に進めていってほしい。

【委員】 1-1 住民の利便性向上について、町民はどのように評価しているかわかるものはあるか。利便性を感じているのか。目標数値がいいということだけで、町民の満足度が測れるのか。

【事務局】 総合計画策定時にアンケート（来年度も策定前のアンケート、中学生向けのアンケートを実施予定としているが）を実施しているので、そこで聞ける。また、それぞれの課で所管する外部の委員会等でご意見をうかがっている。が、広く町民の意見を受けているわけではない。

【委員】 仕事柄、相続案件が多く、年間多くの案件がある。税に関する案件が多い。庄内町の人も依頼にくる。自宅を処分するなど、どこに相談したらいいかわからない。下手なところに相談できない。困りの状況などもあるが、民生委員などあろうが町がどのようにかわるか。

補助金の活用について、町の企業に徹底的にインフォメーションしたらいい。

事業を始めると 2/3 補助 6000 万円する（国）などやっているが、事業者は申請書類の作成が不慣れ、補助金をもらうための作文力が企業にない。銀行が窓口になるが、手数料が 10% 程度。

コンサルティング業務を入れていくような町の取り組みがあってもいいのでは。

最近多いので、参考までに話をしました。

【委員長】 1-5 各種計画数の削減について、国が作らせる計画が多いことは、問題になっている。交付金をもらうために計画を作ることになっている。それも含めているか。国の動向については、町で努力しても仕方ないが。

【事務局】 国の制度上つくる場合も含んでいるが、町の裁量で削減できるものを削減するという意味合い。総合計画とまち・ひと・しごと総合戦略をまとめる自治体もある。

【委員】 職員数について、どこの組織も若年層が 3~5 年以内でやめてしまう。今はいいが、将来的に減っていく。役場の仕事はなくなるので、やめていく部分の補填、補完をしてほしいと思っている。

【委員長】 庄内町でも職員がやめる傾向があるか。

【事務局】 都城市から本町の若年層の退職者を調べてくれと言われたが、田舎なので公務員ブランドがあるため、全国に比べて、退職者数は少ない状況にある。

【委員】 職員の満足度などはどうなっているか。銀行員が公務員になることが多々ある。

今年きらやか銀行は入行時 40 人だったが、現在 10 人。職員が楽しく仕事ができるかどうかが大切。楽しく仕事ができる職場を作ってほしい。

【事務局】 技術職が不足。やめるのではなく、受験してもらえない。県も同様である。

【委員】 臨時職員と職員の人数比率はどうか。

【事務局】 R3 年度あたりまでは、ほぼ同数。保育園の民営化やまちセンの指定管理化で会計年度任用職員は減ってはいる。本町は金額的な面ではあるが県内で比較すると多い傾向となっている。

【委員】 日常で役場に行く用事がない。病院に行く感覚。たまに行くのは窓口。住民票などの証明書類の手数料が高い印象。前に住んでいるところはもっと安かった。必要な時は、数枚必要だったりもするので、地味に高い気がする。

【事務局】 詳細については、担当課になるが、使用料や手数料も見直しの対象としている。今の金額がどのように決まったかは、把握していないが、以前、窓口とコンビニでとる場合の料金の差異について意見を頂戴している。

【委員】 国の税の証明も、窓口と e ネットでは違う。周知はされていると思うが。

【事務局】 使用料などは、トータルコストを基準として、稼働率などから考えていくが、手数料はシステム経費や人件費などから割り出していくのかとは思いますが、手数料の算出方法をすべて把握はしていない。

都城市ではコンビニでの交付が 7 割くらいであり、窓口の軽減となっているといえる。

【委員】 歯医者さんは窓口 7 割という、窓口の対応で 7 割が決まる。役所も同じ。役所と言ったら窓口のイメージ。手数料の高い安いも個人の感覚だが、サービスとはそういうものの。

【委員】 職員の給料は、上がらないものか。3 年たってもあまり上がらないから、やめていくのでは。そうであれば、もっといい目標をもっていたら他に目が行く。実家暮らしならやっつけける金額とは思う。でなければ、家賃の手当があったとしても、暮らしていくのは大変。

【事務局】 給料表で決まるが、国や県の給料を基準としている、本町は、ラスパイレス指数は高くないが、若年層には配慮した構造となっている。

【委員】 民間と比べて福利厚生はいいので、トータルで見るとどうとも言えない。年功序列、終身雇用のような体制で公務員も成り立つのか。過渡期が来るのでは、と思っている。民間はもっと敏感にしている。格差もこの地域に感じる。年収 1000 万を超える会社員もいるが、500 万円以上もらっている人は限られている。

【委員】 庄内町のライン登録をしているが、ラインなどの登録数を伸ばせば、そこで住民満足度などのアンケートをして図れるのでは。

【委員】 いいアイデアと思う。女子高生の感覚、発想はすごい。そういう感覚を持った方がいい。

【事務局】 町長も子供たちの意見を聞きたいということで、とおるくんの学校に行こうと

いう子供たちの言葉を吸い上げる事業を実施している。町長が小学校に出向いて、一緒に給食を食べたり、子供たちと話しをしたりなどの機会を作っている。

本町のライン登録者は1万ちょっと、コロナのワクチン接種のために登録した方が多いので、その用事がすむと拒否する方もいる。

【委員】（町長の）視察はいいことかと思うが、実際に事業を（子供たちに）委託するようなことを取り入れてほしい。音楽一つでも自分が作ったものだという思いが、波及していくと思う。

【委員】 コロナで広がったものが多い。それは、継続してほしい。コロナで省略できたものもある。日常でもその時省けたのだから、今でも省けると感じることはある。

【事務局】 いい悪いは別として、コロナ前に戻るものが多いのも事実である。

【委員】 情報のとり方が変わってきた。WEB会議が当たり前になった。行政にもそういったものが入る余地はあるかと思うが、マイナンバーなどで町の特典を取れていければと思う。カードを取ったがそれっきりというのでは、残念だと思う。

（公益大は）全国からたくさんのお学生さんが来ていると思うが、大学生について、伺いたい。大学生活の満足度はどうか。町に対してどんな要望を持っている学生さんが多いものなのか。庄内地域にどのようなものが足りないなど、話題としてでているか。

【委員長】 庄内にきて満足する学生が多い。そのまま酒田に就職する学生もいる。庄内での就職（就職先が少ない）で苦戦する学生がいる。公益という名前のおおりに、公務員を目指す学生が多い。235定員の学校だが、53件（一人で何件か受かっているひともいる）受かっている。就職が公務員となる学生が多い学校。

【委員】 公務員になって何をやりたいか。公務員はどのようなイメージでとらえているか。

【委員長】 警察官や消防士になりたい学生もいるが、行政職であれば、街づくり、地域活性化などをやりたいという思いを持つ学生がいる。

【委員】 公務員のインターンシップ制度はあるか。

【委員長】 やっている自治体もある。

【委員】 庄内町も受け手になっていただければと思う。

【委員長】 公務員試験で庄内町はレアケースで、専門試験がまだある。ほかの自治体はSPIや面接だけ、鶴岡市などはプレゼンテーション面接などになっている。庄内町は試験を受けづらい。受けたいが、受験勉強が大変なので、ほかの自治体を受験している。

【委員】 何かが変わるときは、既存の考え方の中でするのであれば、改革はないと思う。活かしていただきたい高校や大学機関があると私は思う。

【事務局】 採用試験については、他市町村のことは知らなかったが、人事の方針もあるのでなんとも言えないが。

【委員長】 学生からの情報ではあるが、県内ほとんどが教養試験のみで、専門試験を入れているのは県庁くらいのこと。

【委員】 今は、学生を選んでいるのではない。選ばれているという感覚。

【委員長】 意見書の作成は、昨年同様のすすめかたでよろしいでしょうか。
(了承)

(2) その他

【事務局】 意見書は11月中旬をめどにみなさんに送りたいと思います。まとめなければならぬ部分もあるかと思うが。

【委員】 求める方向性がないとめちゃくちゃな話になりますよ。ということ。

6.その他

・【事務局】 電子通知の説明

・開催時間帯について、夜よりは日中の時間帯の方がいいのでは。⇒次回の案内の時に調整

(20:00)